

中国・四国ブロック会議 岡山市で開催

日本遺族会中国・四国ブロック会議を、10月17日(火)、18日(水)の両日、岡山市のピユアリティまきびにおいて開催しました。

コロナ禍も落ち着き、4年ぶりの通常開催。来賓の上坊勝則岡山県副知事や日本公一県議会副議長をはじめ、日本遺族会の水落敏栄会長、各県の会長、遺児代表、女性部長、青年部長など46名の参加となりました。

会議は地元岡山県遺族連盟の大月理事長の挨拶ではじまり、議題としては日本遺族会の「組織継承3年計画」について、同



会の細貝洋子広報担当課長から説明、続いて徳島県の濱女性部長から同計画の柱である「平和の語り部」の事例発表があり、その後討議が行われました。

次に、各県から提出のあった「今後の遺族会の運営」や「平和の語り部事業」、「忠魂碑の管理」などについて、活発な意見交換がありました。

翌日は、岡山県護国神社の正式参拝、続いて岡山平和祈念館を見学していただき、散会となりました。

第78回全国戦没者遺族大会に参加

令和5年12月14日(木)、東京の自由民主党会館で、全国の戦没者遺族代表346名が参加して、第78回全国戦没者遺族大会が開催され、令和6年度政府予算に要望事項が完全実現するよう決議がなされました。県連盟からは、大月理事長をはじめ7名の役員を派遣いたしました。

本県参加者は、地元選出自民党国会議員に対し、同大会の決議事項が実現するよう、要望活動を行いました。

活動の結果、最重要事項でありました「平和の語り部事業」が新規に予算化されるなど、概ね要望にそった結果となりました。

「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝事業の実施

県連盟では、岡山県の補助により沖縄地域戦跡慰霊巡拝を67人の参加を得て、11月8日(水)から10日(金)の2泊3日の日程で実施しました。

2日目の11月9日(木)には、午前11時から糸満市摩文仁の丘に建立された「岡山の塔」で、来賓として木村俊之岡山県知事代理、小倉弘行岡山県議会議員をはじめ、沖縄県からは県知事代理、照屋守之県議会副議長、糸満市長代理、我部聖寿沖縄県



遺族連合会会長らのご出席をいただき、「岡山の塔」沖縄並びに南方諸地域岡山県出身戦没者追悼式を執り行いました。

式では、大月健一県連盟理事長が式辞を述べ、続いて岡山県知事や県議会議員が追悼の辞を述べ、その後参列者全員で献花を行い、戦没者のご冥福をお祈りしました。

女性部・青年部研修会の開催

「平和の語り部」学ぶ

岡山県遺族連盟では、1月23日(火)に岡山市内で、女性部員や青年部員など37名の参加を得て、「令和5年度岡山県遺族連盟女性部・青年部研修会」を開催しました。

研修会は、大月理事長の「今回は、女性部と青年部の合同での研修会ですので、両部の交流が深まることを願っております。」との挨拶で始まり、波多女性部長、江本青年部長の挨拶と続きました。

研修では、日本遺族会の細貝洋子広報担当課長にお越しいただき、「戦後80年に向けた組織継承3カ年計画」とその柱である「平和の語り部事業」について、熱心かつ具体的に説明をしていただき、参加者の理解を深めることができました。